

観中人権だより

2025 年度《No.6》

2025/10/17(金)

観音寺市立観音寺中学校

学級の絆を深めた合唱コンクール

10月15日(水)に校内合唱コンクールが行われました。9月から練習が始まり、朝、昼、放課後と学校中から美しい歌声が聞こえていました。当日はどの学級も練習の成果を発揮した、すばらしい歌声だったと思います。合唱は、一人だけではどんなに歌っても成り立ちません。学級全体が丸となって取り組むことで、声が重なり、何倍もの迫力と、感動させる力をもった歌声になります。また、周囲の仲間が一生懸命に歌っているからこそ、信頼して大きな声で歌うことができます。今回の合唱コンクールで、きっとどの学級も絆が深まったと思います。この絆を胸に、年度後期もがんばっていきましょう。



合唱コンクールを振り返って(生徒の感想より)

○合唱コンクールのいいところは？

- ・みんなが一つの目標に向かって協力する行事であること。また、その努力の成果を見せることができる場が用意されているというところ。
- ・クラス全体が一つのことに一生懸命になれるところ。やる気に個人差はあるとしても、その一回一回の練習をみんなで取り組み、合唱を完成させるまでの過程に意味があると思っています。
- ・みんなで一つの目標に向かって、課題を直しながらやっていくところがいいと思います。絆を深めながらするので、クラスとしても団結力が高まるし、一人ではできなくて、みんなで作るからそこがいいところだと思います。

○合唱コンクールをふりかえって。

- ・優勝することはできなくて、やっぱり悔しいと思った。けれども、本番の合唱は、今までで一番上手くいったと思ったし、みんなもそんな感じだったので、後悔はしていない。最初は、大丈夫かなと不安になることもあったけど、こうして納得のいく合唱をできたことが本当に嬉しい。
- ・優勝はできなかったけれど、本番で一番いい合唱ができたと思う。練習ではあまり声が出せていなかったけれど、本番が近づいてくると、みんなが頑張ろうとしているのが伝わり、声をだんだん出せるようになった。それも各パートリーダーさんのおかげだなと合唱コンクールを終えて改めて思った。
- ・最優秀賞をとれて本当に嬉しかったです。他のクラスの合唱をきいて、どのクラスも上手かったので諦めそうになりました。でも、みんなで練習してきたことを振り返って、みんながずっと合唱のことを考えていて、「ここ意識して歌おう！」「ここはすごく上手だね！」などと絶対最優秀賞をとるんだという強い気持ちをもってやってきたことを思い出しました。歌ったのは一瞬だったけれど、練習してきた時間は長くて、この一瞬のためにみんながやってきたことが大事だなと思いました。このメンバーで合唱ができて本当に良かったです。